

2021年2月12日

報道関係各位

東京都市大学(都市生活学部)

「誰もが過ごしやすい持続可能性のあるユニバーサルな未来都市デザイン」目指し  
東京都市大学都市生活学部と昭和女子大学環境デザイン学部が学部間協定を締結

学校法人昭和女子大学環境デザイン学部（学部長：金尾朗/東京都世田谷区）と東京都市大学都市生活学部（学部長：川口和英/東京都世田谷区）は、このほど「誰もが過ごしやすい持続可能性のあるユニバーサルな未来都市デザイン」に向け、学部間協定を締結しました。

SDGs(持続可能な開発目標)のひとつ「住み続けられるまちづくりを」を目指して、関係分野で連携・協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に、教員、学部生、大学院生の人材交流を深め、相互の強みを活かしながら協働し研究を進めます。

#### 協定締結学部：昭和女子大学環境デザイン学部、東京都市大学都市生活学部

(連携・協力事項) **連携テーマ「SDGsを視野に入れた高度情報化時代のソーシャルデザイン」**

- (1) 誰もが過ごしやすい持続可能性のあるユニバーサルな未来都市デザインの研究。
- (2) (1) に関係する教育と、それに付随する教員や大学院生、学部生の人材交流。
- (3) (1) に関係する両者の施設の相互利用。
- (4) その他、目的達成のために必要なこと。

昭和女子大学環境デザイン学部は、従来の枠組みにとらわれない文理融合型の学びを通じて、より広い視野で「人と社会のデザイン」の課題をとらえ解決に向け提案・行動できる人材を育成する目的で、2020年4月生活科学部環境デザイン学科から独立し新学部となりました。建築・インテリア、プロダクト、ファッション、プロデュースの4つのデザイン専門分野(コース)を設けています。

東京都市大学都市生活学部は「都市のライフスタイル」「都市のマネジメント」「都市のデザイン」「都市のしくみ」の4つの領域を対象に教育研究を実施。都市の本質を研究し、都市に係わる「空間」や「商品・サービス」を企画・実施・運営できる人材を育成しています。

本件に関するお問い合わせ

東京都市大学都市生活学部 担当：准教授・西山敏樹

nishibus@tcu.ac.jp